

# 千葉県障害者就業・生活支援センター 連絡協議会だより

広報紙  
第23号

令和4年3月31日発行

【発行元】

千葉県障害者就業・生活支援センター  
連絡協議会 会長 藤尾 健二

## 新たな障害者雇用・就労を考えるスタートに

早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「新型コロナウイルス」の発生から早くも2年が経過しました。当初はすぐに終息するだろうと高を括っていましたが、これほどの長期戦になるとは誰が想像したのでしょうか。今ではマスクを外して歩いている人を見ると「ハッ」とする方も少なくないのではないのでしょうか。単に私たちの生活様式が変わったということにとどまらず、価値観や判断基準も大きく変化しているように感じます。

このような中、私たちが取り組んでいる障害者雇用・就労に目を向けると、更に急激な変化が起きていると言えるのではないのでしょうか。第一に挙げられるのが、在宅ワークを初めとしたネットワークを駆使した働き方になります。私たちが開催・参加する会議等が良い例かと思いますが、この2年間は多くの会議がリモートで開催されました。リモートによる利便性はもちろんありますが、当然のことながら万能ではありません。「直接やり取りする」ことが極端に減少しました。この変化による弊害は多く存在すると感じます。今後はリモート化による影響について、具体的な検証が必要になるのではないのでしょうか。

次に挙げられる変化が「障害者雇用・就労の質」を考え直す機会となったことです。新型コロナウイルス感染防止対策として、多くの企業が在宅ワーク・自宅待機という手法を用いました。しかしながら、在宅ワークの仕組みは一朝一夕に用意できるものではありません。残念ながら在宅ワークという名の「自宅待機」を強いられる支援対象者が数多く生まれたのが現実ではないのでしょうか。働くことの意義として、収入は大きなウェイトを占めます。「雇用を継続することにより、生活が守られる」という意味ではとても真摯な対応だと考えます。しかしながら、働くことによって得られるはずの「他者貢献」「自己肯定感」などはこの仕組みでは得ることが出来ません。この視点を持って障害者雇用について考える大きな転機になったと言えるのではないのでしょうか。

近年、農園に代表される「障害者雇用ビジネス」と呼ばれる仕組みが急激に拡大しています。企業は自社での障害者雇用の拡張をあきらめ、あるいは当初から放棄し、雇用率の達成のみを判断基準としてこれらの仕組みを利用しています。支援機関として、これまで以上に踏み込んだ「障害者雇用支援」を実施することが求められることとなります。本当の意味で「戦力」となり得る働き方を提案し、地域においてそのような価値観を醸成することが重要になります。

雇用企業、関係機関との更なる連携のもと、今後の障害者雇用の在り方を皆で考えるスタートに出来ればと思います。関係機関の皆様には、ご協力いただくと共に、ご指導・ご鞭撻いただきたくお願い申し上げます。

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 会長 藤尾 健二



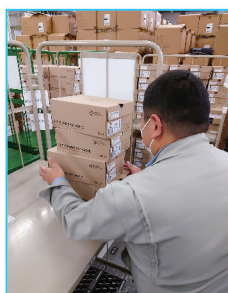
# アンケート調査報告

新型コロナウイルスの影響により、私達の生活は様々な変化がありました。マスクの着用や外出自粛など、思い浮かべるとマイナスな事ばかり…。ですが！そのような状況下でも、前向きに取り組まれている企業がございます。制度施策部会では、「コロナ禍での働き方」について県内16センターにアンケート調査を実施致しました。その中の好事例についてご紹介させていただきます。



## 「コロナ禍での働き方」アンケート内の好事例のご紹介

- 出勤日数が減った従業員の方の業務を障害のある方が代わりに行き、職域拡大に繋がった。
- コロナ禍の新たな働き方に迅速に対応し、給与補償だけでなく、在宅勤務業務も整え、センターとの共有も密に図っている。
- 閉塞的な空気が続くコロナ禍において広報誌を発刊し、社員同士の交流を深めている。
- 在宅研修や社員とマンツーマンでプログラムを勉強するなど、新たな取り組みを取り入れ、本人達のモチベーションに繋がっている。



このように企業が主体となり、障害のある方を戦力として考えている取り組みは、支援機関としても前向きな気持ちで企業と連携することができます。これからますますウィズコロナ・アフターコロナにどう対応するかが問われる社会になるのではないのでしょうか。

はーとふる 田中 愛

## 特別部会より

特別部会では、障害者雇用ビジネスとの向き合い方について取り組んできました。

現在様々な雇用形態が創出されてきている中、自らの会社の中で雇用することができずに雇用ビジネスに場所と管理を任せってしまう企業が多数あることがわかりました。障害のある方を雇用する事とは、根本に共生社会を促進させる手立ての一つであると考えています。雇用先というだけで、殆どタッチしない雇用の在り方が良いものだとは思えません。雇用率が年々上がっていく中で苦慮する気持ちもわかりますが、このようなビジネスが広がっていく状況では、障害のある方が住みやすい「当たり前の社会」がいつ来るのか不安になり先が長く思えます。しかし、重度の障害のある方が働く場の創出にもなっているのも事実であり、就労者もだんだんと増えている状況で無視するわけにもいきません。今後も引き続き向き合い方と対応について連絡協議会内で議論していきます。

いちされん 西村 拓士



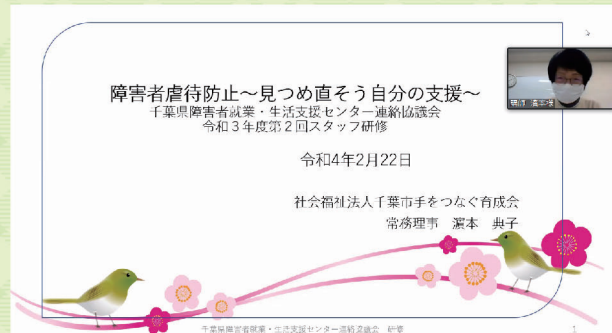


# 令和3年度 第2回スタッフ研修

2月22日(火)オンラインにて令和3年度第2回のスタッフ研修を開催しました。

今回は社会福祉法人手をつなぐ育成会常務理事の濱本典子氏を講師としてお招きし「見直そう！今までの支援・気づこう！これからの支援～障害者虐待防止は日々の支援から」をテーマに講義をいただきました。16センター55名のスタッフが参加し、講義後には感想を含めたグループワークを行いました。グレーゾーンは虐待との認識を持つこと、虐待はしている自覚、されている自覚は問わないなど、様々な事例を含めてお話をいただきました。心理的虐待については「もしかして日頃の支援も…」と気づきのある内容でした。特に大切なこととして「目の前の利用者を人として尊重する」「利用者の意思決定が尊重されていること」との話があり、就労支援を行って行く中で、しっかりと障害のある方の話を聞き、本人が職場や仕事を選択し人として尊重され、やりがいのある職場へと繋いでいくことが大切だと感じました。

千葉障害者キャリアセンター 栗原 章泰



## 障害者雇用という表現は、 単なる企業への入り口を示す言葉であってほしい。

新卒/中途採用等と異なるその入り口は、職域拡大やステップアップ(正当な評価対象)へと続く道が閉ざされている事がある。「〇〇障害は受け入れていません」「ナカポツ登録が必須です」という言葉を聞くと、その現実が強調される。さらに、昨今では採用活動を外部に託すビジネスが潤い、そういうアウトリーチをする企業ほど、会社案内に彼らの働く姿が載っていない。あるいは、感染予防を謳った彼らだけの無期限の自宅待機。コロナは、企業の本音や本来業務からの距離感を際立たせた。

仕事(責任感や一定の負荷、人との関わり等)は、彼らの人生を必ず豊かにする。就職は、単に会社に名前を置いておくためではない。実際、雇用の質を担保している企業を知っている私たちは、受け入れる側(企業)と送り出す側(学校や就労系事業所)双方に働きかける責務を持つ。その役割を担い、互いに求める(連携する)無期限の支援者であり続けたい。障害者雇用という表現すら、なくなることを願って。

あかね園 中 真宏



## いちされん 西村さんのつぶやき



コロナウイルスに振り回されて、大分時間が経ちました。なかなか落ち着かないですね。マスクや手指消毒にも慣れ、今ではマスクをしなくて何となく落ち着かない気持ちにさえなります。マスクがあるからと、化粧をしない女性や、髭をそらない男性も増えているそうです。隠すことも含めるとマスクって感染防止以外にもいろんな使い道があるのだなとか思ったりします。しかし、支えていく中で、口の動きを読んで会話をする聴覚障害の方や、表情を読んで返事をする知的障害の方たちと接する際にマスクが邪魔に感じる場合があります。障害のある方だけでなく、子供と接する時も不便ではないでしょうか？場合によっては感情を勘違いされることもあります。

見えない方が良いことと見えないと困ること、感染防止のために表情の読めない世の中になるとするのはとても寂しく感じます。早く終わらないかな…

いちされん 西村 拓士



# 千葉県障害者就業・生活支援センター一覧

**野田圏域 はーとふる**

〒278-8550  
野田市鶴奉 7-1  
野田市役所 1F

TEL  
**04-7124-0124**

**市川圏域 いちされん**

〒272-0023  
市川市南八幡  
5-17-11 (1F)

TEL  
**047-300-8630**

**船橋圏域 大久保学園**

〒274-0053  
船橋市豊富町 690-13

TEL  
**047-457-7380**

**習志野圏域 あかね園**

〒275-0024  
習志野市茜浜 3-4-6  
京葉測量(株) 内

TEL  
**047-452-2718**

**千葉圏域 千葉障害者キャリアセンター**

〒261-0002  
千葉市美浜区新港 43

TEL  
**043-204-2385**

**市原圏域 ふる里学舎地域生活支援センター**

〒290-0265  
市原市今富 1110-1

TEL  
**0436-36-7762**

**君津圏域 エール**

〒292-0067  
木更津市中央 1-16-12  
サンライズ中央 1F

TEL  
**0438-42-1201**

**松戸圏域 ビック・ハート松戸**

〒271-0047  
松戸市西馬橋幸町 117  
ロザール松戸 109 号室

TEL  
**047-343-8855**

**香取圏域 香取就業センター**

〒287-0101  
香取市高萩 1100-2  
高萩福祉センター内

TEL  
**0478-79-6923**

**柏圏域 ビック・ハート柏**

〒277-0005  
柏市柏 3-6-21  
柏ビル 302

TEL  
**04-7168-3003**

**印旛圏域 就職するなら明朗塾**

〒289-1115  
八街市八街ほ 244-62

TEL  
**043-488-5499**



**海匝圏域 東総就業センター**

〒289-2513  
旭市野中 3825

TEL  
**0479-60-0211**

**山武圏域 山武ブリオ**

〒299-3211  
大網白里市細草  
3215-19

TEL  
**0475-71-3111**

**長生圏域 長生ブリオ**

〒297-0012  
茂原市六ツ野 2796-40

TEL  
**0475-44-4646**

**安房圏域 中里**

〒294-0231  
館山市中里 291

TEL  
**0470-20-7188**

**夷隅圏域 ピア宮敷**

〒299-4504  
いすみ市岬町  
桑田 341-1

TEL  
**047087-5201**

## 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 事務局 TEL 0436-36-7762 FAX 0436-26-7090

〒292-0067 市原市今富 1110-1 障害者就業・生活支援センター／ふる里学舎地域生活支援センター  
E-mail : fg.shien@yukeikai.jp URL : <http://www.chiba-centernw.com/>



千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

### 編集後記・広報部会より

年度末となりましたが、今年度2回目の広報紙発刊となりました。例年に比べ今年は特に雪も多く、「冬らしい冬」だったようですが、ようやく春の訪れを感じられるようにもなりました。これからは何をすることも気持ちのよい季節になりますね。身近なところにも季節を感じられる場所や時間があると思います。そういったものに触れることがとても大切なんだとコロナ禍になって特に思う日々です。宴会しながらのお花見とはいかないですが、季節に少しは触れたいものですね。

広報部会長 金木 隆裕